

マンモグラフィ検診車を整備しました！

公益財団法人JKAの平成29年度検診車整備事業により、最新鋭のマンモグラフィ検診車を更新整備しました。

1. 目的

乳がんの早期発見及び早期治療を図るため検診車を整備し、もって県民の健康増進に寄与する。

2. 整備事業費

58,708,800円

内 公益財団法人JKAによる補助金25,000,000円

3. 特徴

今回、整備した新しい検診車は、平面型X線検出器（フラットパネルディテクタ/FPD装置）を搭載した撮影装置を使用することで、現在のCR（コンピュータドラジオグラフィ）を用いた装置と比べ、X線による被爆線量が大幅に削減されるほか、撮影から検像（画像確認）までの時間も短縮され、一人あたりの検査時間が短縮されることにより、受診者の方に安心して快適な乳がん検診を実施することが出来る。

4. 背景

平成28年度乳がん検診の県南部・県西部の中山間地域における受診者数は2,998人であるが、そのうち71.4%に当たる2,142人が検診車で受診している。

当機構が保有するマンモグラフィ検診車は、県内唯一のマンモグラフィ検診車であり、検診車による乳がん検診は、医療機関の少ない地域においても精度の高い検診を県民に等しく提供する上で重要な役割を担っている。

当機構といたしましては、この最新鋭の撮影機器を搭載した新しいマンモグラフィ検診車を駆使して県内全域を巡回し、県民の皆様の乳がんの早期発見、早期治療、健康増進を図るため、この検診車を大いに活用させていただきます。



(披露式)



(テープカット)





(X線管装置・撮影台)



(操作室)



(操作室)



(待合室)



(運転席)